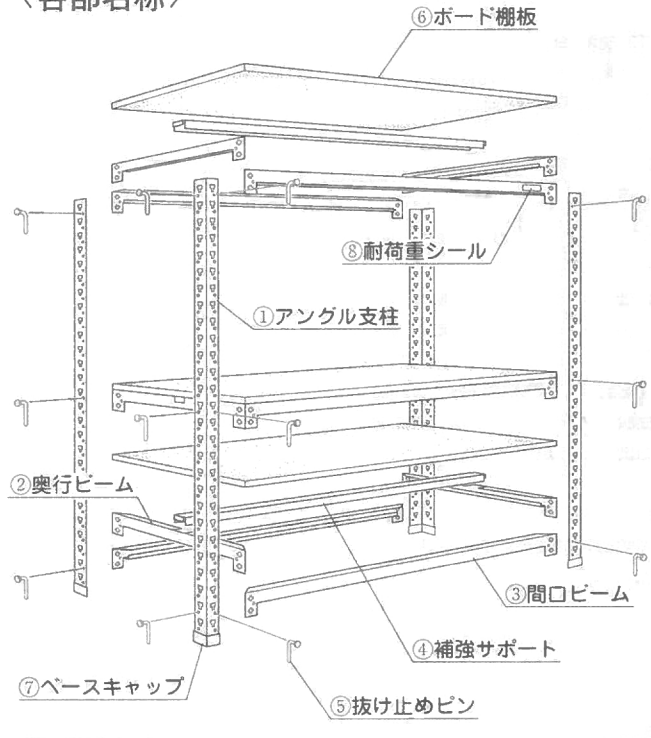


ボードラック取扱説明書

保存用

〈各部名称〉



下記の部品明細に基づき各部品が揃っているかどうか確認して下さい。
万一、不足の品、不良品がございましたらご購入先へご連絡下さい。

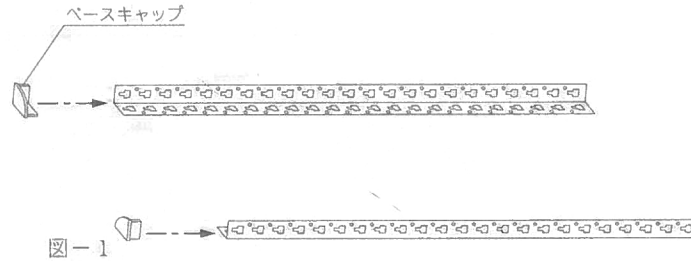
部品明細

品番	品名	数量	
①	アングル支柱	4	
②	奥行ビーム	2N	
③	間口ビーム	2N	
④	補強サポート	450・600D	N
		900D	2N
⑤	抜け止めピン	8N	
⑥	ボード棚板	N	
⑦	ベースキャップ	4	
⑧	耐荷重シール	2	
⑨	取扱説明書	1	

※1台分の明細を示しています。※Nは棚板段数を示します。

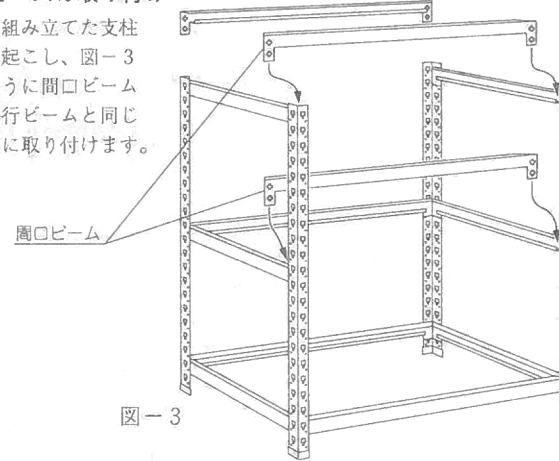
① ベースキャップの取り付け

- まず木槌、又はプラスチックハンマーをご用意下さい。
- 支柱の上下を確認してから(孔が狭くなっている方が下です。) 図-1のようにベースキャップをはめ込みます。



③ 間口ビームの取り付け

- ②で組み立てた支柱枠を起し、図-3のように間口ビームを奥行ビームと同じ位置に取り付けます。



⑤ 補強サポートの取り付け

- 図-5のように奥行ビームの溝位置に合わせて、補強サポートをはめこみます。

補強サポート	450,600D	1本/段
取り付け本数	900D	2本/段

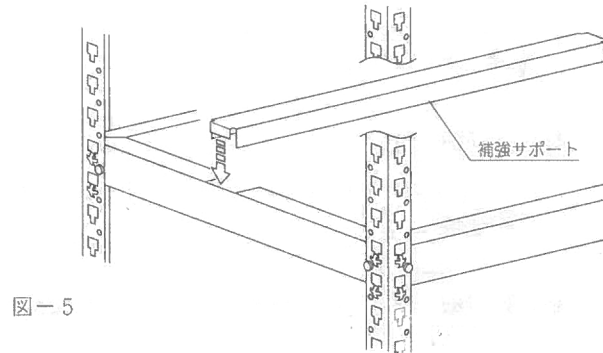
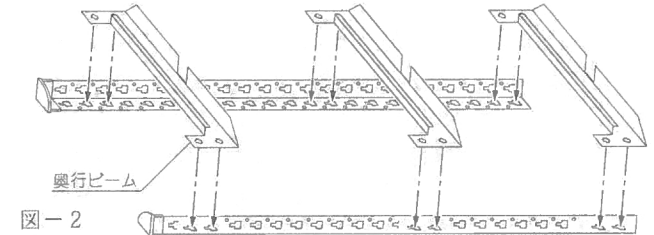


図-5

② 奥行ビームの取り付け

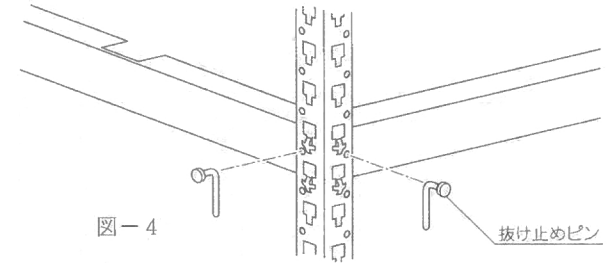
- 支柱を水平に寝かせ、図-2のように最上段と最下段の奥行ビームを取り付け木槌で軽く打ち込みます。
- 次に中間の奥行ビームを用途に応じた間隔で取り付けます。最下段の奥行ビームは必ず孔1つあけて取り付けして下さい。



※奥行ビームの取り付けは50mmピッチです。

④ 抜け止めピンの取り付け

- 安全のため、間口・奥行ビーム共に必ず抜け止めピンを図-4のように差し込みます。



警告 すべての抜け止めピンが確実にセットされていない状態で使用すると破損する恐れがあります。

⑥ ボード棚板の取り付け

- 支柱と奥行、間口ビームの各取り付け部を完全に打ち込んだあととボード棚板を図-6のように各段にのせます。

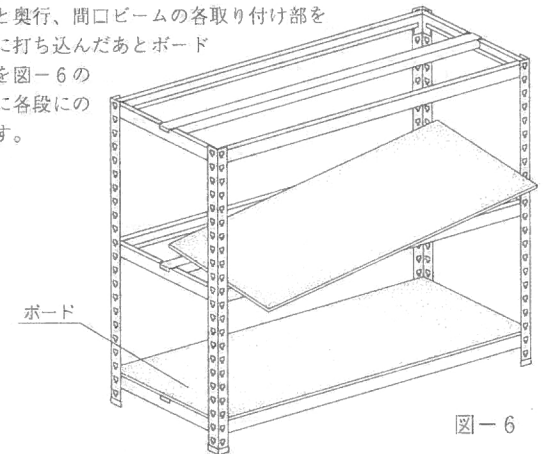


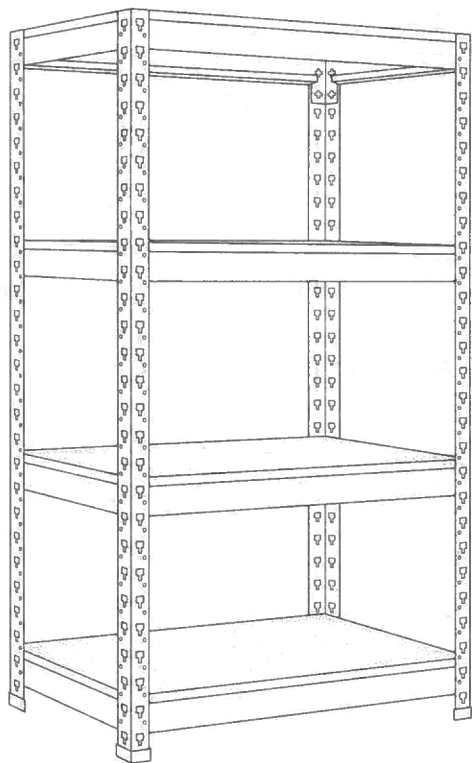
図-6

- 完成後、耐荷重シールを間口ビーム上段の見やすい位置へ貼り付けてください。(正面・背面共)

ボードラック取扱説明書

この度はボードラックをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この説明書は、製品の使用上の注意事項と組立の手順について記載しています。組立・ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、正しく組立後、安全にご使用下さい。また製品を末長くご使用いただくために、この説明書は大切に保存して下さい。



組立・御使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読み下さい。

⚠警告

この警告事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

●耐荷重より重いものを載せないで下さい。

耐荷重より重いものを載せると棚板が破損し、荷物が落下し、けがをする恐れがあります。

●集中荷重はかけないでください。

棚1段当たりの耐荷重は等分布荷重です。1箇所にも重いものを載せると耐荷重範囲内でも棚板が変形し、破損する恐れがあります。

●1台(1連)当たりの総耐荷重を超えて使用しないで下さい。

棚1台(1連)当たりの総耐荷重には制限があります。制限を超えて使用すると破損したり事故になることがあります。

■タイプ別耐荷重表

タイプ	1段当たりの耐荷重 (等分布耐荷重)	1台当たりの総耐荷重 (総耐荷重※天板を除く)	
		1800H以下	2400H以下
BR	200Kg/1段当たり	1000Kg/ 1台当たり	800Kg/ 1台当たり

【注意】棚板数が標準より多い場合には総耐荷重は低減します。
※添付の最大等分布耐荷重シールを人が見える位置に必ず貼り付けてご使用下さい。1台につき2枚入っています。

●抜け止めピンをはずして使用しないで下さい。

部品が脱落して事故になることがあります。
抜け止めピンは必ず取り付けてから使用して下さい。

●ビームの爪は必ず正しくセットして下さい。

全ての爪が確実にセットされていない状態で使用すると棚板が落下し事故になることがあり危険です。

●分解・組立・廃棄する時は専門業者にお任せ下さい。

⚠注意

この注意事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

【設置条件について】

- この製品は室内または屋内用です。屋外で使用されますと錆ついて強度が低下する恐れがあります。
- ラック本体の水平を保つように調整を行って下さい。水平が保たれない不安定な床面に設置されますと転倒してけがをしたり荷物が落下し破損する恐れがあります。
- 支柱ベース部は集中荷重がかかりますので、ラック設置に適した強度を持った床面に設置して下さい。

【安全にご使用いただくために】

- 棚板に足をかけたり上にあがったりしないで下さい。転倒してけがをしたり、棚が変形する恐れがあります。
- フォークリフトで荷物を載せないで下さい。衝撃荷重がかかり耐荷重範囲内でも棚板が変形したり、破損する恐れがあります。
- 最上段の棚板に荷物を載せないで下さい。棚本体が倒れ、荷物が破損したり、けがをする恐れがあります。
- 棚本体に寄りかからないで下さい。棚の積載物、積載量によって、棚が倒れけがをする恐れがあります。
- 製品の孔に指をいれしないで下さい。孔に指を入れると、けがをする恐れがあります。
- 最上段の棚板は必ず支柱の上端に取り付けて下さい。支柱の角でけがをすることがあります。
- 危険物は収納しないで下さい。人体や衣服等を傷つけることがあります。
- 異常を発見したまま使用しないで下さい。棚が破損してけがをすることがあります。
- この製品を第三者に譲渡、貸し出しを行う際は、本取扱説明書を添えてお渡し下さい。